

令和2年度 福島県立只見高等学校 学校経営・運営ビジョン

< 校訓 > 真摯 明朗 健康



校章

長く厳しい冬を耐え抜く雪椿を図案化したもので、強い忍耐力を表しています。また、真紅の花が真心を、常緑の葉の輝きと厚さが高い知性を表現しています。

○一人ひとりの輝く未来と地域の可能性のために

校長 伊藤 勝宏

本校は地域の高校教育の推進、人材育成を目標に地域の方々に支えられ、諸先輩方の努力で、幾多の輝かしい成果を残してきました。

そうした積年の伝統や思いのもと、本校は「小さな学校の大きな可能性」への挑戦を目指し、生徒の持つ可能性を引き出す教育活動を展開していきます。特に、個に応じた指導の充実を進め、生徒の進路実現を図って参ります。また、生徒の主体性を育み、これを生かしていく授業の取組みを通して、教員の力量が十分発揮できるような組織体制づくりを進めます。

本校は、令和3年度より「地域協働推進校」に指定され、新たなスタートを切ることとなります。本年度はその準備の年です。豊かな自然と文化に恵まれた地域からの学びと、県内外からの生徒受け入れによる交流活動、地域の方々との協働を通じた地域課題の解決等により、新たな可能性の創造に取り組める人材の育成に努めます。

今後は、生徒、保護者をはじめ地域からも信頼され、期待に応えられる学校を目指し、教職員一丸となって努力して参ります。

<教育目標>

自主的精神に満ちた豊かな個性と実践力のある生徒の育成

- (1) 豊かな教養と情操をもつ、心身ともに健やかな実践力のある生徒の育成
- (2) 社会の有為な形成者として、質実・真摯な勤労意欲にもえる社会人の育成

<今年度の目標> ●は重点目標

<確かな学力の育成>

- 多様な進路希望に応じた学習指導計画と講座設定(習熟度・進路別少人数授業の充実)
- 自ら学ぶ態度の育成(含読書の活性化)
- 実効性のある教育課程の研究
- 新学習指導要領を見据えた指導法の研究と校内研修の充実(対話的で深い学びにつながる授業改善、ICT活用、指導と評価)

<健やかな体と豊かな心>

- 「規律」と「調和」を重んじ、明るくあいさつのできる生徒の育成
- 生徒理解及び教育相談の充実(自他を尊重し適切な人間関係構築を図る指導、ICTを活用した生徒理解)
- 保健衛生活動の充実(コロナウィルス対応)
- 特別活動・探究活動の充実と主体性の育成

<進路希望の実現>

- 希望や適性に応じた進路指導の充実(面談の充実、「挑戦する姿勢」の育成)
- ガイダンス機能の充実(各種講演会の実施、大学・企業見学)
- 大学入試改革への対応と校内体制の整備
- 保護者に対する適切な情報提供

<信頼される学校づくり>

- 学校安全防災教育の推進と危機管理の徹底
- 教育環境の整備
- 地域との連携と適切な情報発信(ホームページや校報の充実・行事の連携)
- 教員の不祥事防止と信頼の確立

【自己評価と公表】

教育活動の充実に向けた中間評価及び年度末評価を実施し、教育の質の改善を図るとともに、時代の流れやニーズに応じた教育がなされているか検証します。

また、学校評議員による外部評価も実施し、その結果については、本校ホームページ及び校報誌「雪椿」に掲載して広く公表します。